

鳥取県新型コロナウイルス感染症対策本部（第26回） 第40回鳥取市新型コロナウイルス感染症対策本部 会議 合同会議

日時：令和2年7月30日（木）午後11時～

場所：鳥取県庁災害対策本部室（第2庁舎3階）

出席：知事、副知事、統轄監

令和新時代創造本部、危機管理局、総務部、福祉保健部
中部総合事務所、西部総合事務所、日野振興センター
鳥取市長、鳥取市保健所

※鳥取市テレビ会議参加者

総務部長、危機管理部長、税務・債権管理局長
人権政策局長、企画推進部長、企画推進部経営統轄監
市民生活部長、環境局長、福祉部長、健康こども部長
経済観光部長、農林水産部長、都市整備部長
下水道部長、教育長、病院事業管理者、水道事業管理者
市議会事務局長、鳥取市各総合支所長、消防局長

議題：◇新型コロナウイルス感染症陽性者の発生について
◇その他

県内における新型コロナウイルス感染症患者の確定について(11例目・第1報)

11例目

1 概要

性別：男性

年代：40代

居住地：鳥取市

2 現在の症状：

3 経過

4 現在の患者の状況

対応方針

1. 患者対応

入院協力医療機関に入院

2. 濃厚接触者等への対応

- 積極的疫学調査を実施し、濃厚接触者を特定
 - 最終接触日より2週間の健康観察
 - 外出自粛要請
- 家族等の濃厚接触者や検査を希望する方等に対し、PCR検査を実施
- 感染源特定のため、発症前2週間の行動歴を調査し、関係する都道府県に情報提供を行う。

鳥取市コロナシグナルについて

市内で新規陽性患者の発生に伴い鳥取市コロナシグナル
オンの期間を8月13日までに変更。

鳥取市コロナシグナル

☆新規陽性患者の発生に合わせた市の対応を共有し、新型コロナウイルス感染症の効果的な感染防止、感染拡大防止対策に努める。

シグナル		オフ	オン
新規陽性患者		なし	あり
活動制限	イベント・会議等	・手指消毒やマスク着用、発熱等の症状がある者は外出等を避けるなど、「新しい生活様式」に基づく基本的な感染防止策を徹底すること。 ・イベント等の主催者や出演者は「業種別ガイドライン」等に基づく行動、参加者の連絡先把握、接触確認アプリの周知、イベント・会議等前後の感染対策（行動管理含む）の呼びかけを行うこと。 ・イベント等の主催者は、特に、全国的な移動を伴うものには格段の注意をはらうこと。 ・イベント等の参加者には、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあることを周知すること。 - また、発熱等の症状がある者はイベント等に参加しない措置を講じること。	感染が確認された次の日から起算して14日を経過しない間に開催するイベント等は、原則中止又は延期とする。 ただし、国・県のガイドラインの実践等により、感染予防が図られる場合はこの限りではない。
	市有施設	— 感染発生を予防する事項の呼びかけ ・手洗い励行、マスク着用 ・換気の徹底	感染者が発症2日前以降に使用した施設は施設内の消毒が完了するまで休館とする。再開に当たっては接触者（施設職員等）の陰性確認など感染のおそれのない運営環境を要件とする。 その他の施設については、イベント・会議等の開催に関する基本的な考え方を踏まえ施設の開館継続・休館の判断を行う。ただし、福祉施設等臨時休業とする事で市民生活に重大な影響を及ぼす施設及び屋外スポーツ施設、公園、利用者が地域住民に限られ、かつ利用者が特定される施設はこの限りではない。

※陽性患者の確認状況、行動歴などにより対応を変更する場合がある。

※新規陽性患者確認された次の日から14日間新たに陽性患者が確認されない場合オフにする。

鳥取県版新型コロナウイルス警報

地域	発令区分	発令期間
全県 重点地域：東部	警報	8月13日まで

※発令期間は状況に応じ延長

<特に東部地区の皆様へのお願い>

- 全県(重点地域：東部)に「警報」を発令します。
- 親しい間柄での会食や飲食店、カラオケなど、大都市で発生している感染拡大同様の状況がみられるようになっていきます。
- 自分を守り、大切な人を守り、地域と社会を守るために、「三つの密」を避ける、人と人との感染防止距離を取るなど、感染拡大防止に今まで以上に特別の注意を払いましょう。
- マスク着用、こまめな手洗い・換気などの感染予防に、これまで以上に十分注意を払っていただくよう強くお願いします。
- 大人数での会食や飲み会を避け、大声を出す行動(飲食店等で大声を出す、カラオケやイベント、スポーツ観戦等で大声を出すなど)を自粛いただくよう強くお願いします。
- 接触確認アプリ(COCoA)をインストールしましょう。
- お店を利用する際は、感染予防対策に十分注意しながら行動してください。
- 出勤時の体調確認、体調不良の従業員を出勤させないなどの感染防止の取組強化をお願いします。

<中西部地区の皆様へのお願い>

- 「三つの密」を避ける、人と人との感染防止距離を取る、マスク着用、こまめな手洗い・換気などの感染予防に、これまで以上に十分注意を払っていただくよう強くお願いします。
- 若年層を通じての感染が多数確認されていますので、特に行動に留意してください。

<感染防止対策の徹底、検査・医療体制の強化>

- 東部地区に加え、中西部の県有施設についても感染防御の取組を点検
- 今後クラスターが発生した場合、当該箇所の活動制限等について検討
- 学校関係については、周辺の感染状況によって休業などを判断
- 保健所機能を強化(積極的疫学調査、発熱・帰国者・接触者相談センター窓口)
- 医療・福祉施設の感染防止対策の徹底、必要物資の供給体制強化、患者用の病床確保

県民の皆様へ

- ◆今後、患者の行動歴をもとに接触者の確認を行います。
- ◆県民の皆様にあっては、県のウェブページなどから正確な情報を確認し、不確かな情報に惑わされることなく、冷静な行動をとっていただくようお願いします。
- ◆風邪症状や発熱、味覚・嗅覚に違和感が出たら、外出は控え、まず、「発熱・帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。
電話：0857-22-5625(鳥取市保健所)
0858-23-3135・0858-23-3136(倉吉保健所)
0859-31-0029(米子保健所)
- ◆医療機関を受診したいと思ったとき、事前に電話して指示に従うようにしましょう。
- ◆患者、新型コロナウイルス感染症で治療に当たる医療従事者やその家族などに対し、誤解や偏見に基づく差別を行うことは決して許されません。公的機関の提供する正確な情報を入手し、冷静な行動に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症に立ち向かっている患者、医療従事者の皆さまをみんなで応援しましょう。
- ◆県では、全庁をあげて感染拡大の防止策を強化するとともに、県民生活・県民経済の安定を確保するための取組を進めていきます。

県内にいらっしゃった皆様へ

- ◆新型コロナウイルスは、季節性インフルエンザと比べて死亡リスクが高く、特に、高齢者や基礎疾患のある方では重症化するリスクが高いことも報告されています。
- ◆高齢人口が3割近くに進み、医師や看護師、医療機関などの医療資源も限られている鳥取県では、感染が拡大すればその影響は大きいものとなります。
- ◆自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲に感染を拡大させないことが不可欠です。少しでも体調が悪ければ出歩かないことを心がけ、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に万全の注意を払っていただきますよう強くお願いします。
- ◆厚生労働省の、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」は、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです。積極的な利用の登録・活用をお願いします。

県外にお出かけされる皆様へ

- ◆7月30日、全国の新規感染者は初めて1,300人を超え、過去最多確認されました。
全国では大都市を中心に市中感染が広がっており、接待を伴う飲食店など特定のお店にとどまらず、どういう場所で感染しても不思議ではなくなっています。
例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。
- ◆鳥取県では、県外との往来に注意すべき地域として「感染警戒地域」、「重要感染警戒地域」としてお知らせしていますが、さらに注意すべき地域として「特別感染警戒地域」を設定し、県民の皆様にお知らせすることとしています。
 - 【特別感染警戒地域】(17都府県)
埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、福岡県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
 - 【重要感染警戒地域】(11県)
茨城県、栃木県、福井県、山梨県、三重県、滋賀県、岡山県、広島県、徳島県、佐賀県、長崎県
 - 【感染警戒地域】(13道県)
北海道、宮城県、秋田県、群馬県、新潟県、石川県、長野県、島根県、山口県、香川県、愛媛県、高知県
(R2.7.29現在)
- ◆感染が拡大している地域に行かれる場合は、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に万全の注意を払っていただきますよう強くお願いします。
- ◆厚生労働省の、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」は、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです。利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。積極的な利用の登録・活用をお願いします。

東京都にお出かけの場合

◆7月30日は7月23日の366人を上回り、過去最多の367人の感染者が確認されました。7月28日には品川区にある「ゼームス坂通り」付近の飲食店街でクラスター(感染者集団)が発生するなど、都内の新規感染者数は7月には急速に感染者が増加しています。

もはや当初言われていた若い世代のみならず幅広い全年代に広がり、最多の新宿区はもちろんのこと、23区全体が顕著に陽性判明が増加しているほか、多摩地域にも感染が広がっています。

感染の場所も、従来から指摘されてきた新宿等の接待を伴う飲食店にとどまらず、既に市中感染が広がっている状況となってきました。どういう場所で発生しても不思議ではなくなっています。店を利用する人は、東京都の「感染防止徹底宣言ステッカー」のない店の利用は控えるなど、十分に注意しながら、行動してください。

◆現状では、特別の注意を払わなければならない段階に入っていると考えられ、東京都へお出かけの際には最大限警戒して、自分の健康状態はもとより利用する施設の感染防止対策を確認し、その必要性を判断し、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、他の地域へ行く時よりもさらに感染予防に万全の注意を払っていただきますよう強くお願いします。

例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。

なお、小池都知事から都民には外出自粛が呼びかけられています。

※注意事項については、随時HPでお知らせします。

愛知県にお出かけの場合

◆名古屋市中区錦に加え、栄、大須、新栄の3地区のカラオケバーや会員制クラブ等でクラスター(感染者集団)が発生しました。このような飲食店への外出を控えてください。

愛知県内では、7月30日に160人の感染が確認されました。過去最多の7月29日の167人よりは少ないものの2日連続で150人を超え、ほぼ全域の41市町、30代以下の若い世代で感染が拡大しています。

◆感染の場所も、従来から指摘されてきた接待を伴う飲食店にとどまらず、既に市中感染が広がっている状況となってきました。どういう場所で発生しても不思議ではなくなっています。

◆現状では、特別の注意を払わなければならない段階に入っていると考えられ、愛知県へお出かけの際には最大限警戒して、自分の健康状態はもとより利用する施設の感染防止対策を確認し、その必要性を判断し、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、他の地域へ行く時よりもさらに感染予防に万全の注意を払っていただきますよう強くお願いします。

例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。

※注意事項については、随時HPでお知らせします。

大阪府にお出かけの場合

◆7月22日に初めて100人を超え、7月29日には過去最多の221人と初の200人台の感染が確認されたのに続き、7月30日は190人とこれまでで2番目に多い数となりました。

夜の繁華街を訪れるなどした30代以下の若い世代で感染が拡大し、そこから40代以上の中高年層で広がっています。

飲食店での友人らとの飲み会、会食を通しての感染も増えてきており、感染の場所も、従来から指摘されてきた接待を伴う飲食店にとどまらず、既に市中感染が広がっている状況となってきました。どういう場所で発生しても不思議ではなくなっています。店を利用する人は、大阪府の「感染防止宣言ステッカー」のない店の利用は控えるなど、十分に注意しながら、行動してください。

◆現状では、特別の注意を払わなければならない段階に入っていると考えられ、大阪府へお出かけの際には最大限警戒して自分の健康状態はもとより利用する施設の感染防止対策を確認し、その必要性を判断し、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に注意を払ってください。

例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。

※注意事項については、随時HPでお知らせします。

福岡県にお出かけの場合

◆福岡市中洲のキャバクラのほか、中央区のダンスクラブでクラスター(感染者集団)が発生しました。このような飲食店への外出を控えてください。

7月30日、121人の感染が確認され、過去最多を2日連続で更新しています。

福岡市内では20代から30代の若者の感染が多い傾向にあるほか、北九州市や久留米市でも感染確認されています。感染の場所も、従来から指摘されてきた接待を伴う飲食店にとどまらず、既に市中感染が広がっている状況となってきました。どういう場所で発生しても不思議ではなくなっています。

◆現状では、特別の注意を払わなければならない段階に入っていると考えられ、福岡県へお出かけの際には最大限警戒して、自分の健康状態はもとより利用する施設の感染防止対策を確認し、その必要性を判断し、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に注意を払っていただきますようお願いします。

例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。

※注意事項については、随時HPでお知らせします。

県庁の対応

○土日を含め30名の応援態勢で鳥取市保健所を支援

疫学調査への応援のほか、検体搬送、その他の応援を行う。

○庁舎内及び職員の感染予防対策の徹底

・出勤者の削減

8月1日より執務室の職員密度を下げるため出勤者を3割削減する。

・庁舎内に入室する場合の取扱

外来者も含め、庁舎内に入室する場合は、手指消毒を徹底する。

・職員の出張

特別感染警戒地域へ出張については、その必要性を十分に検討の上、万全の感染予防対策を講じる。

・職員の感染予防対策の徹底

業務中だけでなく、私的な場面においても、感染予防対策（「三つの密」の回避、マスク着用など）・健康管理（出勤前の検温など）を改めて徹底する。

・職員が会食する際の注意

多人数での会食は避ける。少人数であっても会食する場合は、感染予防対策（食事中以外のマスク着用、適切な距離の確保、お酌はしない、カラオケなどでの大声を避けるなど）を改めて徹底する。